

## 議会報告会の振り返り（議員意見）

### 【開催日程について（日時、場所、方法、周知など）】

- ・ 2日とも 100 人近い参加者が来たので良かったと思います。
- ・ 概ね良かったと思います。
- ・ 新聞折り込み周知については、時間的にやむを得ない。平日の夕方開催も考えられるが、今回の報告会の内容を考えれば、土日の選択で良かったと思う。
- ・ スピード感としては良かった。場所は 2階でエレベーターがあったので広さも不足なかった。報告方法は説明して質問を受けるスタイルは良かったけれど、町民に議会に定められたルールがあることが理解されていないため、堂々巡りになってしまった。周知は道新、勝毎に報告会期日が報道されて、良かったが 14日に勝毎チラシが入り遅れた感があった。
- ・ 開催決定からの期間が短かく、周知が行き届いていないように感じた。それにも関わらず、多くの方が参加してくれたことに驚くとともに、関心の高さを感じた。
- ・ 可能な限りの最速スケジュールで開催できたことが良かった。周知に使われた議会 facebook のアカウントが旧アカウントだったようなので、お時間ある時に整理していただけると混乱が減るかもと思います。
- ・ 時間の制限もあり、だらだらとしなくてよかった。
- ・ 日時、場所、方法、適切であったと思います。周知はなるべく早く周知できれば良いと思います。
- ・ 平日夜の開催があっても良かった
- ・ 開催に向けて最短で準備ができ、適切であった。
- ・ 週末の 2日間でたくさん来て頂いた。会場の広さも丁度良かった。勝毎のチラシ配布が当日になってしまったのが残念。
- ・ 今回は、採決→提言書→報告会の開催とスピーディーな取り組みが出来たと思います。
- ・ 時間的な制約を考えると特に問題となるような事はなかったと思います。

### 【当日の運営について（進行、意見聴取の方法など）】

- ・ 進行は良いが、質問に対しての答弁者が 4人ぐらいいた方が分かりやすい答弁になったかもしれない？

- ・概ね良かったと思う。
- ・オープンな形での開催がベターと思います。
- ・1つの課題についての報告会であり、限られた時間の中での質疑応答、意見聴取ということを考えれば、このような運営方法しかなかったと思う。担当されたみなさん、お疲れ様でした。
- ・時間前に準備できた、進行マイクとも問題なかった。
- ・多くの方に発言していただけたのは良かった。再質問も受け付け、言いたいことは言っていたのかと思う。
- ・限られた時間内での意見聴取だったが終了時間を示したことは良かった。進行係としては、反対議員の起立を求める発言、議長への中傷とも受け取れる質疑、リフトの無賃乗車等の発言には厳しく対応すべきだったと反省点がある。
- ・意味のない、趣旨にそぐわない、議会の権限などにそぐわないものの質問を遮断出来ないことは理解しますが、何とかならなかったのかと思います。
- ・問題なかったと思います。マイクの使い方や音量とは事前の確認が少し不足していました。
- ・特になし
- ・適切な対応だった
- ・スムーズな進行で良かった。
- ・今回は、議会側からの議決までの経過報告、意志の表明が主となることから良好であったと考える。
- ・想定人数を考えると良かったのではないかな。

### 【今後の議会の取組み】

- ・町民の意見は、もう同じ質問になると思うので、理事者側の提案を待つのみ。
- ・結果を急ぐものでないが取組みは早急に行うべき。スキー場の再開を望む声が多いので、どういう形で再開出来るのか？調査すべきだと思う。
- ・町と協力しながら早期のオープンに向けて意見を交換し合うことが大事だと思う。
- ・今後の特別委員会の議論に生かせるよう、総括および議員共有が必要と思います。
- ・町民に議会が知らない世界になっていることがわかった。せつかく議会に目を向けてくれたので、どんどん議員になってもらうキャンペーンとか、議会だよりで議会ルール、第三セクター、指定管理者の仕組みなどを載せて、知ってもらうようにしてはどうか。
- ・新嵐山の再開、存続に向けた町との議論をできるだけ早く始めることと、その

中身を町民に知らせていくことが必要と感じた。町民、町、議会が一堂に会し、議論する場を設けられると良いと感じた。

- 議決結果についての厳しい意見については、それぞれが胸に留めることでよいが、やはり今後の再開については要望が高いし、動き始めることで希望の道筋が見えてくると思う。しかし、その手法について議会でも具体策を持ち合わせていないので、再開するための要件についての情報収集、執行機関との丁寧な協議（わだかまりのない関係で）、住民意見聴取・参加などが必要。現状は住民、議会、執行機関、それぞれが嵐山への熱量は高いものの、その熱の向かう方向がバラバラで、非難し合うことに終始している状況。ベクトルを整え、前向きな議論に向かえることが新しい新嵐山スカイパークを再建する力になると信じている。
- 「議会は代替案を持ち合わせているのか？」の問いについては、あらためて議会のやるべきことを全員で共有しておくことが重要。「提案について審議する」の当日答弁についてもホットボイスで意見が来ているが、議会が具体的な事業提案をする立場にあるのか否か、議会の役割を確認し、住民に問われた際には答えられるようにしておきたい（自分への反省）
- 即対応するものを整理して、町に提案すべき。
- 出来ること出来ないこと、早急に取り組むべきことを整理することが大事であると思います。またこの件に関しては、今まで以上に細かく現状を住民にお示ししながら進めていく必要があると思います。
- 重要案件は議決前の意見交換が必要
- 報告会の総括を全議員で共有し、嵐山特別委員会調査につなげていく
- 提言書を踏まえた今後の動向を調査すること。町の提案を受けていれば、頂いたご意見に応えることが出来たと思いますが、対案がなかったのが残念です。
- まずは、すぐ取り組むべきこと（令和5年度）と今後に向けて（令和6年度、今後）に分けて調査すべきと考えます。
- 具体的な方向性を示せれば。スキー場はどうするか？キャンプ場をどうするか？宿舎はどうするか？など